

「おおたかの森スタイル」

ねらい

- ・ 自己有用感を高めるため、小中教員が以下の手法を意識して授業に臨んでいます。
- ・ 毎時間の授業が必ず以下の流れになるのではなく、授業の特質を踏まえ、その時間に適切な手法を選んで実施しています。

過程	手法	具体案
導入	(1) 前時までのふりかえりをする。 (2) ねらいを明確にする。 (3) 見通しを持つ。	① 具体物や写真などを使い、子どもをひきつける提示をする。 ② 映像を活用する。appleTV、ipad ③ 子どもの体験を引き出す。「〇〇をやったことがある人はいますか？」 ④ 子どもから問いを引き出す。 ⑤ 既習と比較をする。 ⑥ 「気になるな」「何とかしたいな」「解決したいな」という思いを引き出す。
展開	(1) 一人ひとりに活躍の場を与える。 (2) 子ども同士が認め合う場を設定する。 (3) 話し合いの場面を設ける。 (4) 自分の考えをみんなの前で発表する場を設ける。	① 一人ひとりのよさを生かした活動をする。 ② ペア学習、グループ学習 ③ 話し合いの流れを決めておく。 ④ 話し合いの役割を決めておく。 ⑤ 同じ意見の人で集まる。
まとめ	(1) 本時のまとめをする。 (2) ふりかえりをする。	① ワークシート、挙手、継続的なふりかえりを積み重ねる。 ② 感想を書いてもらい、交流する。 ③ 口頭でほめる、励ます。